

狭山市教育委員会  
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立奥富小学校  
校長 工藤 泰輔

令和5年度 狭山市立奥富小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)知力の向上	(2)体力の向上	(3)徳力の向上
(4)連携教育	(5)危機管理能力・人材育成	(6)業務改善

2 本年度の経営方針

【知力・体力・徳力向上の実践】
【ポストコロナにおける教育活動の実践】

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
教育目標	1	教育目標や学校経営方針を意識して、校務分掌にあたっているか。	B	・HP、各種便り、保護者会、学校運営協議会、民生児童委員会などを通じて、指導の重点を保護者、地域に更に周知徹底するように努める。
	2	指導の重点を意識して、日々の授業をしているか。	B	
	3	学校教育目標や学年・学級目標を児童・保護者等に周知するよう工夫しているか。	B	
組織運営	4	児童理解に基づき、可能性(知・徳・体)を伸ばすための学年・学級経営がなされたか。	B	・風通しのよい職員室にすることを心がける。 ・一人一人の教職員に声かけをして日頃からのコミュニケーションを大切にしたい。
	5	担当の校務分掌・各種委員会は、機能しているか。	A	
	6	職員会議や各部会が、計画的に持たれ、機能しているか。	A	
	7	各組織内では、「報告・連絡・相談」が適切になされているか。	B	
	8	学年研修は計画的になされているか。	B	
	9	「開かれた学校」を意識し、学校運営協議会を活用し、家庭や地域・外部機関との連携に努めているか。	B	
教育課題	10	授業時数は確保されているか。	B	・対話力を校内研修を柱として、相手を意識し双方向性のあるコミュニケーション能力の育成を図る授業改善に取り組んだ。研究の成果を、他教科にも波及するように努め、基礎・基本の確実な定着を図る指導法の工夫改善を図る。 ・主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業展開の工夫改善に努める。 ・朝マラソンや外遊びに取り組むことにより体力向上を図った。今後も、重点期間を定めるなど時期の工夫をして継続していく。 ・生活アンケートを通じていじめの早期発見・早期解決に努めている。 ・Q-Uテストを活用し、自己肯定感を高めるために、児童の良さを認め、認めて伸ばす指導を継続する。
	11	日課表は適切であるか。	B	
	12	年間指導計画は本校の実態に即して適切に計画されているか。	B	
	13	指導目標をおさえた指導ができてきているか。	B	
	14	個々の児童の能力に応じて、基礎・基本の確実な定着を図る指導法の工夫改善がなされているか。	C	
	15	授業のねらいを明示し、児童の言葉でまとめをするなど、学びを実感できる授業実践に取り組んでいるか。	B	
	16	主体的・体験的・問題解決的な学習を取り入れた授業が展開できたか。	B	
	17	学習指導の結果を振り返り、反省と検討をしているか。	B	
	18	評価の規準は学年内で統一されていたか。	A	
	19	学習に必要な資料・教材教具は用意され、使用後は整理や保管が適切になされたか。	A	
教育課題	20	体育部の方針に沿って、積極的に体力向上の取組を推進できたか。	B	
	21	バランスの良い心身の発達を指導し、児童の健康管理を支援できたか。	B	
	22	学びの場を地域へ広げ、地域の環境や人材を効果的に活用するよう努めたか。	A	
教育課題	23	課題研究、現職研修に主体的に取り組んでいるか。	A	
	24	ICTを積極的に活用して授業をしているか。	B	
生徒指導・道徳	25	授業はじめと終わりの挨拶について、指導の徹底を図っているか。	B	・「奥富小の決まり」を基本とし、全職員が共通理解のもと、児童の指導に当たる。 ・対話を取り入れた道徳の時間や、様々な教育活動の中で意図的に道徳的な指導を取り入れ、道徳教育の更なる推進を図る。
	26	校外での生活指導は適切になされたか。	B	
	27	生命や人権を尊重する心情や態度を育む指導は適切になされたか。	B	
	28	豊かな心・強い意志を育む道徳教育は効果を上げているか。	B	
環境整備	29	教育効果を高めるような掲示の工夫をしたか。	B	・登校時のあいさつ、時と場に応じた言葉づかいについて、教職員が見本となり、継続して指導する。 ・学校事故0が当たり前であるという意識で、定期的な安全点検を行い、要修理箇所に関しては迅速に修繕を行う。
	30	特別教室が計画的に整備され、有効に利用されているか。	B	
	31	元気なあいさつは定着しているか。	C	
	32	正しい言葉づかいは定着しているか。	C	
	33	子供と一緒に清掃等の活動に取り組んでいるか。	B	
	34	開かれた学校の視点から、行事や授業の公開に積極的に取り組んでいるか。	B	
	35	毎月の安全点検を着実にやっているか。	A	

## 【児童・学校・保護者・地域で繋いだ教育活動の結果について】

昨年12月に保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート結果についてお知らせします。ご多用の中、大勢の保護者の皆様に回答をいただき、ありがとうございました。なお、評価内容右側の数値は評価基準（満足・だいたい満足）の肯定的評価を合わせた割合を示しました。また比較のため令和2年度～令和5年度のものを示しています。

No	評価内容	評価の割合(%)			
		R5	R4	R3	R2
1	学校は、学校だより等で教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。	97	99	98	98
2	子供は、元気なあいさつができています。	81	88	87	89
3	学校は、子供の学力を高めようと努力している。	91	96	95	96
4	子供は、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	85	91	90	94
5	先生は、子供のことをよく理解し、適切に相談に応じている。	90	95	95	97
6	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	86	96	92	95
7	学校は、清潔で清掃が行き届いている。	95	92	94	92
8	学校は、花壇、学級・学年園を整備している。	94	97	98	98
9	学校は、事故防止や子供の安全に取り組んでいる。	94	98	95	95
10	学校は、PTAと連携した教育活動を進めている。	85	90	86	94
11	学校は、保護者が学校行事や授業を参観する機会を多く設けている。	97	99	89	90
12	学校は、保護者の思いを聞く機会を設けている。	92	94	88	95

令和4年度と比較し全体として評価を落とす結果になりました。しかし、今年度は回収率が91%で例年より多く、それだけ本校の教育に関心をもっていただけることがありがたいです。この結果を真摯に受け止め、令和6年度は一つ一つの教育活動や行事に対してPDCAサイクルを基に反省と改善、工夫をしながら取り組んでまいります。今後も引き続き、子供たちのために教職員一同、教育活動の向上に邁進してまいります。何かあればいつでも学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

### 【重点的な取り組み】

- No1・・・学校だよりではできる限り子供たちのがんばりや写真、作品を中心に保護者の方や地域の方に発信していきましました。引き続き取り組んでいくと同時に、ホームページや緊急メールも活用し情報を発信してまいります。
- No2・・・まずは教職員からあいさつをすることやあいさつの大切さを語ることを取り組んできました。その結果学校では朝だけではなく、廊下ですれ違う時にもあいさつができるようになってきました。地域でも（特に朝）挨拶をするように指導していきます。
- No3・4・6・・・  
理解のとりこぼしがないように全児童に学力を定着させることで、授業がわかる→授業が楽しい→学校が楽しいとなるように引き続き研究を重ねてまいります。
- No5・12・・・  
すべての子供たちについて全教職員で共有しています。何かあれば面談もいつでも受け入れています。また、SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）、さやまっ子相談員などの機関とつながりながら、教育相談を行ってきました。引き続き保護者の方と一緒に児童のよりよい成長を見守ってまいります。

### 令和5年度 狭山市立奥富小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

A : よくできている。(90%以上) B : 概ねできている。(85%以上)

C : あまりできていない。(70%以上) D : できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	学校関係者評価委員から	
			評価	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点目標に掲げられているように「奥富の恵まれた自然環境」の中で、児童らがすくすくと成長する姿を目の当たりにし、とてもうれしく思います。</li> <li>私達協議委員及び学校の先生方双方共、色々な事を共有し、順調な運営が出来ていると思います。</li> <li>児童が楽しめる行事や保護者への公開授業などがあり児童が学校へ行くことが楽しいと思える工夫がたくさんあったと思います。</li> <li>今後の学校運営にあたり教職員の方々の働き方改革は最優先課題だと痛感しております。地域の皆さん、教職員の方々、そして我々保護者が一体になって学校運営に興味を持ち、どんな形で協力出来るかを考えて頂く事で様々な負担を分散できると思います。</li> <li>奥富は地域の行事が多く、地域の人が先生方の負担を少しでも減らせるように連携を図る必要がある</li> </ul>
	2	児童生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	B	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B	
学習	6	教師は、児童生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が授業を受けている様子がかがえる機会は、運営協議会の実施日に限られますが、教室で授業を受ける様子はとても落ち着いており、向上心が旺盛であるように映っています。</li> <li>私達の時は一方通的な感がありましたが、今は双方向的で、先生と生徒のコミュニケーションが良く出来ていると思います。</li> <li>集中して授業を受けている児童がとても多いと感じました。先生とのやり取りもあり、楽しく授業を受けていると思えました。先生方は努力して授業に取り組んでいると思えました。</li> <li>先生方の大変さはとてもお察しします。ただ気になるのは個々のプリント学習の多さが気になります。</li> <li>1学年から6学年まで幅広く指導しなければならないので大変だとは思いますが、各学年での交流学习を増やして学力の向上やコミュニケーションの向上に注視して頂ければ保護者としてとても助かります。</li> <li>先生方それぞれに工夫して授業をしていると思えます。</li> </ul>
	7	児童生徒は、落ち着いた学習に取り組んでいる。	B	
	8	児童生徒は、基礎的基本的な学力を身に付けている。	B	
	9	児童生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。	B	
	10	児童生徒は、英語活動をおとして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B	
規律ある態度	11	児童生徒は、進んであいさつをしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の学校評価を拝見し、教育目標・教育課題について具体的な課題がみえていると思えました。一方、生徒指導・環境整備については具体的な解決策をみつけるのが難しいと思えます。保護者や地域を巻き込んで解決策を考えられたら良いと思えました。</li> <li>児童が進んであいさつをする習慣をつけるためには、こちらから明るい挨拶をすれば挨拶を返して来るようになると思えます。</li> <li>通学見守りを行っています。学童は毎日明るく通学しています。私は学童が元気に、事故無く学校へ行けるように心掛けています。</li> </ul>
	12	児童生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	B	
	13	児童生徒は、時間を守って生活している。	B	
	14	児童生徒は、きまりを守って生活している。	B	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B	
健康・体力	16	学校は、児童生徒の体力を高めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業前にグラウンドを走る姿をいつも見えています。子供たちが生き生きしている姿がとても印象的です。また、放課後、公民館で宿題や自習を行う児童もたくさんおり、宿題が終了すると、足早に校庭へ向かって元気に遊んでいます。とても頼もしく感じます。</li> <li>朝や業間休みなど、校庭に出て体を動かす時間があるのが嬉しいです。</li> <li>授業時間の確保も大変な中ではありますが、給食の時間が少しだけ増やせると焦って食べたり、時間がなくて食べられなかったー！ということが減るかと思えます。</li> <li>先日、冬まつりイベント片付けの時にたまたまシャトルランの音楽が流れた際、子供達が自主的に走っていた事がとても感激しました。自然に身体が動いていた様ですが、指導が徹底されているんだと改めて思いました。</li> <li>コロナがあり、運動の機会が奪われた事で体力が落ちたと思う。</li> </ul>
	17	児童生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B	
	18	児童生徒は、健康を意識した生活をしている。	B	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>奥富かかし祭りをはじめ、田植え体験、昔遊びなど地域の方々との連携は他の地域よりも積極的に行われていると感じています。ただし、地域の高齢者にやや頼りすぎている感も否めません。地域との連携も必要ですが、児童の保護者、家庭の協力が必須です。今後に期待します。</li> <li>学校運営協議会に参加でき、地域との交流が多い事に驚く一方で、地域など外部の協力がなくては学校運営ができなれと感じました。また地域イベントでは学校の協力があつたからこそイベントが盛り上がったと思えます。</li> <li>学校運営協議会発足後、改めて地域の方々との関わりが重要な事だと痛感したと同時に双方が子供達の為に真剣に考えて頂いている光景に保護者代表としてとても感銘を受けました。ありがとうございます。</li> <li>学校に関わっている人とそうで無い人とがはっきりしている。今後、関わっていない人に興味を持って貰うにはどうしたら良いかを考える必要がある。</li> </ul>
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B	